

## インターカンパニーハブ(ICH)

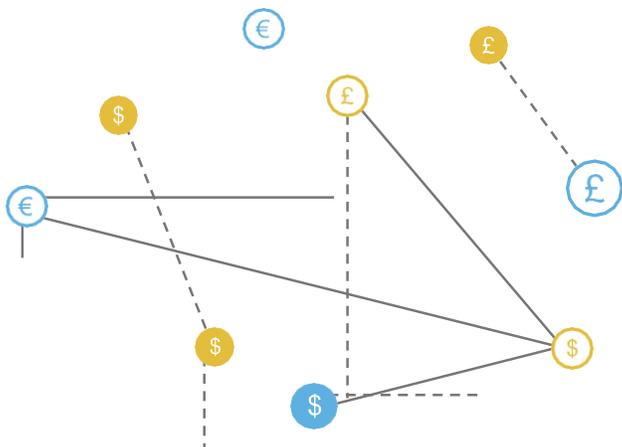
海外との取引やM&A、強化され続ける規制や複雑化するグローバルのビジネス環境は、グローバル企業に対して大きな影響を与えています

あらゆるデータが複数のERPシステムに保管されている現在の状況では、グループ会社間の会計処理はコストが高く、リスクも多いものです。マニュアルでの会社間の会計処理は、現代の企業ニーズに応えることができなくなっています。

グローバル企業では在外子会社との勘定照合手続きに時間もかかり課題が多いため、法人税や規制報告、そして決算処理に対するリアルタイムでの可視性が失われています。

ブラックラインのインターカンパニーハブ(ICH)は多くの経理財務責任者が待ち望んでいた、複雑な組織体制に不可欠な会社間の会計処理のニーズに特化した理想的なソリューションです。

自動化されたワークフローを構築し、明細突合や勘定照合などを行い、可視性を向上させることで業務の複雑性を排除し、リスクを軽減しながら効率化を促進します。



## グループ会社間の取引管理を 変革する

### グローバルガバナンスと規則の一元化

内部取引の階層とガバナンスを明確にします。勘定科目表や税務申告関連書類、配賦ルールなどの資料を集中管理。徹底した可視性のもと、関連取引、照合項目、そして証憑・証跡類を一元管理します。

### 内部取引の標準化

ビジネスルールや組織の階層などに基づいたダイナミックな業務フローを設定し、各取引を適切な承認者に割り当てます。ある一定の基準をクリアした取引には自動承認を行い、より付加価値の高い分析業務に担当者の時間を割り当てることができます。

### 勘定照合と明細突合を容易にする

時間がかかり、厄介な会社間照合プロセスをルールに基づいたマッチング機能で自動化。担当者は例外処理の分析のみに集中できるようになります。誤った取引内容と、修正仕訳を直接紐づけます。

### ネットイングと決済処理を促進

会社毎の債権債務残高をグループ全体の視点で集計し、グローバル資金管理システムの機能を補完します。会社間の取引残高のネットイングにより銀行手数料を削減することが可能です。未決済の債権債務残高を検知して報告します。

### 財務報告の可視性を向上

ダッシュボードやレポート機能でデータを集計。レポートはユーザーによるカスタマイズが可能で、データをドリルダウンして取引レベルで分析することができます。



## ソリューションの機能

ブラックラインのインターカンパニーハブは、ルールに基づいたワークフローを用いて、従来の会社間の会計処理に対して積極的に標準化を推進し、自動化を実現します。

我々のエンドツーエンドのソリューションは、グローバルなグループ全体のデータを一元管理し、ガバナンスの強化、取引明細の管理、勘定照合、ネットティングと決済、そしてレポート作成を容易に行うことを可能にします。会社間の組織の階層と関係性を定義し、取引内容の整合性を強化します。

インターカンパニーハブは柔軟な対応が可能です。取引内容を入力するだけでなく、既存データを外部システムからインポートすることも可能で、監査や財務報告目的に対して完全な可視性をユーザーに提供します。

## 会社間取引の処理

**内部取引の関係性を強め、取引の開始、承認、記帳まで一貫して行います**

### 具体化&資料化

取引に関係する全ての証憑・証跡類に容易にアクセスできるように一元管理します。仕訳、コメント、自動発行されたインボイスは全て関連付けられ、包括的な監査証跡と承認履歴を提供します。

### 取引の作成&検証

標準テンプレートで内部取引の作成をコントロールします。取引に関わる会社の債権側と債務側の双方の取引を自動作成し、レコードの証跡には取引IDも含まれます。作成後、検証プロセスで入力のロジックエラーを事前に検知し、精度を担保することでERPや会計システムへの転記のエラーを防ぎます。取引に必要な仕訳やインボイスは自動作成されます。

### ワークフローの承認

ダイナミックなワークフローは取引の関係性、金額の基準値、ユーザーロールに基づいて的確な承認者へ取引を紐づけます。ユーザーが定義したロジックに基づき仕訳を自動承認することができます。

## 会社間取引の管理

### グローバルなグループ会社間取引の 可視性を常にキープします

#### マッチング

内部取引の明細を外部のデータと自動突合することが可能です。ユーザーが効率的にICHの内部取引とERPに入力されたデータを比較・照合することができます。

#### 勘定照合

自動で差額を検知するので、ユーザーは不一致理由の調査と解決に集中することができます。差額の調整項目を検知された不一致の取引から作成することも可能です。誤った取引内容と修正仕訳との関連付けができます。

#### 監査サポート

内部監査人および外部監査人に対してデータの閲覧権限を付与することで、会社間取引に関わる監査対応のための情報収集や追加の分析、資料作成が不要になります。

#### ネットイング

ネットイング機能により会社間の決済に必要な取引数を削減します。相殺の対象になる取引金額と対象にならない取引金額を把握し、誰が支払人で誰が受取人かを素早く特定することができます。

#### 決済マネジメント

グループ会社ごとの全ての決済情報を一元管理します。相殺後の債権と債務の会社別残高を閲覧できるようになります。相殺後残高の内訳明細をドリルダウンして確認することができ、既に決済されているかといった決済状況もわかります。

#### レポートとダッシュボード

一元管理されたデータにより、税務や財務報告、規制報告に必要な情報を提供します。ダッシュボードでは取引単位での詳細表示ができ、エクスポート機能や、カスタマイズが容易で直感的に分かりやすい指標を表示できるツールを兼ね備えています。



## グループ会社間の取引管理を変革する

多くの経理財務責任者が経験する最も困難な課題の一つはコーポレートリスクのマネジメントです。現代のグローバル企業の成長スピードは会社間の会計処理を不正確なものとし、企業はリスクにさらされています。規則を強化し、企業が素早く会計処理を変えていかなければ、コンプライアンスを維持することができなくなります。

競争に打ち勝つため、日々の可視性は企業の財政状態を持続するために不可欠なのです。そのため、リアルタイムで財政状態を把握する必要があり、正しい経営判断を行うことにより、マーケットの変動に対応することができます。

ブラックラインのインターカンパニーハブは、柔軟なエンドツーエンドのソリューションです。膨大な取引データを一元管理し、構造化されたワークフローで効率性、可視性を改善し、リスクを軽減させることができます。

インターカンパニーハブを利用すれば、グループ会社間の会計処理を根本から変革することができます。

ブラックラインのミッションは、単一のクラウドプラットフォームで一元管理することによって、財務情報の品質、正確性、効率性を向上させ続けることです。

インターカンパニーハブは、これらのミッションに対してさらに一歩踏み込み、グローバル企業が会社間取引のリアルタイムな分析を継続的に実行できるようにします。内部取引の処理を簡素化、自動化しCFOや経理部長に必要な情報を提供することができます。

BlackLineは、お客様に従来のアプローチからコンテンツ・アカウンティングモデルへの移行を促し、リアルタイムオートメーション、管理、決算タスクを日々の会計活動へと組み込みます。結果として、ブラックラインは多くの企業がモダンファイナンスを得ることができるよう支援し、効率的な決算処理を実現させます。

世界中の3,000社を超える企業から、BlackLineを使えば財務報告の正確性を保証できるとの強い信頼を築いています。